

平成 28 年度の外来種対策事業について

愛知県自然環境課

愛知県自然環境課では、今年度の外来種対策事業として、以下の項目を実施している。

○ 外来種対策研修会

地域で特に問題となっている侵略的外来種対策について、市町村やNPO等を対象とした研修会を開催する。

	第 1 回研修会（尾張地区）	第 2 回研修会（三河地区）
開催日	平成 28 年 10 月 26 日（水）	平成 28 年 11 月 2 日（水）
場 所	自治研修所	西三河総合庁舎

内 容：・日本における外来種対策 ・外来魚問題とその対策

・新たな外来種の紹介 ・オオキンケイギク防除の取組

出席者：市町村職員 49 名、NPO 職員等 19 名、県職員他 40 名 合計 108 名

○ 専門家の派遣

外来種対策について、知識・経験が不十分な市町村に対して専門家を派遣し、指導・助言を行う。

実績（H29.2 現在）：アルゼンチンアリ（2 件）、アカミミガメ（1 件）

○ ヒガタアシの対策

生態系に著しく悪影響を及ぼすおそれのある侵略的外来植物ヒガタアシについて実態を調査し、根絶に向けた効果的な駆除方法を検討する。

○ 侵略的外来種の現状把握（本検討会：環境調査センターが実施）

条例公表種、特定外来生物、そのほか悪影響が懸念される外来種の生息生育情報を把握し、今後の対策の基礎資料を集積する。

スケジュール H28 年度：淡水域、H29 年度：陸域、H30 年度：沿岸域